

事業シート(令和4年度決算)

事業名	21500 海外戦略推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約
			款	2	総務費		まちづくり戦略	(3)	品質・価値の向上と情報発信	
			項	1	総務管理費	根拠計画	海外戦略、過疎地域持続的発展計画			
			目	16	海外戦略推進費					
担当課	飛騨高山プロモーション戦略部 観光課、商工労働部 商工振興課	内線	2417							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 世界の活力を呼び込み地域経済の活性化を図るため、海外からの観光客の誘致及び周遊促進を図る。 多様化する外国人観光客のニーズに応え、安心して快適に滞在できる環境を整えるとともに、市内消費を促進するため、受入環境の充実を図る。 地場産品の海外への販売を促進するため、海外での宣伝活動を推進する。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 多言語観光パンフレット・ホームページ等の充実やFacebookなどのSNSの活用などによる情報発信の充実 トップセールスや海外旅行博覧会・見本市への出展、海外メディアや旅行関連事業者・輸入関連事業者等への情報発信、日本政府観光局や日本貿易振興機構との連携などによる宣伝・誘客・販売促進活動の推進 外国人観光客向け公衆無線LANサービスの提供や通訳ガイドの育成・確保、文化的・宗教的背景を持つ観光客に配慮したサービスの充実などによる受入体制の強化 海外展開に意欲のある事業者の支援 高山に滞在した外国人旅行者を対象とした調査の実施
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	R3実績	R4実績	R6目標
外国人観光客入込数(宿泊)(年間)	2993人	40493人	-
新規海外販売契約件数(年間)	3件	11件	-
海外への輸出事業者数	25社	23社	50社
外国人で市内がにぎわい、海外との人や物の交流が進んでいる」と感じている市民の割合	52.6%	42.4%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

	R3			R4			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)	
歳出事業費 (職員人件費を除く)	56,164	29,556	37,999	48,275	39,921	10,365	
特定財源							
国費(海外戦略推進事業費)					2,946	2,946	
県費(海外誘客プロモーション事業費)					2,000	2,000	
その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金等)	15,498	15,497	30,000	30,000	34,893	19,396	
一般財源	40,666	14,059	7,999	18,275	82	△ 13,977	
個票枝番	主な事業内容						
	外国人観光客受入体制の強化	7,180	5,195	4,670	4,670	4,634	△ 561
	飛騨高山国際誘客協議会負担金ほか各種負担金	9,991	7,041	8,679	8,679	8,418	1,377
	職員海外派遣、海外プロモーション	15,900	12,358	16,000	16,276	15,643	3,285
◎ 1	ジャパンハウスロンドン飛騨の匠展			2,300	2,300	2,331	2,331
◎ 2	海外オンラインプロモーション	17,000	0	0	10,000	4,318	4,318

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和5年度予算編成(Action)

(千円)

R5予算		実施計画額		42,500
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
55,067	38,360	34,860	△ 3,139	
0	14,000	14,000	△ 16,000	
55,067	24,360	20,860	12,861	
査定額	説明			
5,370				
9,070				
15,800				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 海外メディア、旅行関連事業者等の招へい(3件) 外国語パンフレットの作成・配布(8言語) 多言語ホームページの開設(11言語) パンフレット等の外国語表記に対する助成(1件) 無料Wi-Fiサービスの運用(利用件数9,939件) 	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、外国人観光客入込数(宿泊)が前年比97.2%減の2,993人となった。 海外でのプロモーションができないなかで、SNSを活用した情報発信(Facebook、Instagramフォトコンテスト)やオンライン商談会などに参加した。 	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 渡航制限が徐々に緩和されるなか、ウィズコロナ、アフターコロナを見据えた積極的なプロモーションや受入環境整備を図る。 越境ECへの事業者の参画促進を図る。 	

5.令和4年度事業実績・評価等(Check) R5.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 海外メディア、旅行関連事業者等の招へい(20件) 多言語ホームページの運用(11言語) パンフレット等の外国語表記に対する助成(1件) 無料Wi-Fiサービスの運用(利用件数10,418件) ジャパンハウスロンドン飛騨の匠展への出展 海外誘客プロモーション事業の実施 	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症拡大に係る水際対策の緩和を踏まえ、海外旅行会社へのセールスコールや旅行博への出展、オンラインプロモーションの実施等、積極的な誘客活動を展開した。 水際対策の緩和等の影響により、外国人観光客入込数(宿泊)は前年比の約13倍の40,493人となった。 	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 不安定な国際情勢や原油高等の継続、円安の進展など、先行きは不透明ながらも、インバウンド観光の回復傾向を踏まえ、状況に応じた適切なプロモーション施策や受入環境充実のための施策を展開していく。 	

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 外国人旅行者の誘客促進、受入体制の強化、海外への販路拡大のために必要な経費を計上 職員海外派遣、市長・副市長によるトップセールスに必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	<ul style="list-style-type: none"> トップセールス旅費(市長・副市長分)を秘書事務費へ移行
市長査定 の考え方	<ul style="list-style-type: none"> 外国人旅行者ヒアリング調査に係る経費について精査 輸出展開支援事業補助金に必要な経費について精査

主要事業個票(令和4年度決算)

事業名	21500 海外戦略推進事業	区分	<input checked="" type="checkbox"/> R4新規	<input type="checkbox"/> R5新規	会計	1	一般会計	担当課	飛騨高山プロモーション戦略部観光課 商工労働部商工振興課
枝番・内容	1 ジャパンハウスロンドン飛騨の匠展		<input type="checkbox"/> R4拡充	<input type="checkbox"/> R5拡充		款	2		総務費
			<input type="checkbox"/> その他重要事業		項	1	総務管理費	作成年月	R5.8
			<input type="checkbox"/>		目	16	海外戦略推進費		

事業の目的・概要(Plan)

目的	飛騨の匠にまつわる歴史、伝統、文化、製品等を紹介することにより、海外誘客プロモーション及び販路拡大を図る	概要	市と関係団体等で構成される実行委員会によるジャパン・ハウス ロンドン「飛騨の匠展」の開催
----	--	----	--

[参考] R3決算(Do・Check) R4.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

[参考] R4当初予算(Action) R4.3時点 (千円)

予算額	当初	2,300
主な経費	ジャパンハウスロンドン飛騨の匠展実行委員会負担金 2,300千円	
	対前年度増減額(当初予算)	
		2,300

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R4決算(Do・Check) R5.8時点 (千円)

予算額	当初	2,300
	繰越	
	補正等	
	最終	2,300
決算額		2,331
対前年度増減額(決算)		2,331

R5当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	
主な経費		
	対前年度増減額(当初予算)	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等	
[事業実績]	
[評価等]	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	市と関係団体から構成される実行委員会を設立し、ジャパン・ハウス ロンドン「飛騨の匠展」を開催 開催期間: R4.9~R5.1 内容: 飛騨の匠の歴史・技術紹介 飛騨の家具、木工製品展示 ワークショップ、実演等の実施
[スケジュール]	

事業実績、評価等	
[事業実績]	・入場者数 計131,809名 ・国内外のメディアでの掲載 ・ジャパン・ハウス ロンドンショップでの地場製品の取扱い(11件)
[評価等]	・飛騨の匠の歴史や、それに紐づく飛騨家具等の地場製品の紹介を通じ、英国における飛騨高山の認知度の向上や興味関心を深めることに貢献した。
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input checked="" type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
[スケジュール]	

主要事業個票(令和4年度決算)

事業名	21500 海外戦略推進事業	区分	<input checked="" type="checkbox"/> R4新規	<input type="checkbox"/> R5新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	飛騨高山プロモーション戦略部 観光課
枝番・内容	2 海外オンラインプロモーション		<input type="checkbox"/> R4拡充	<input type="checkbox"/> R5拡充		款	2	総務費		内線
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		1	総務管理費	作成年月	R5.8	
		<input type="checkbox"/>		目		16	海外戦略推進費			

事業の目的・概要(Plan)

目的	新型コロナウイルス感染症拡大に係る水際対策の緩和にあわせ、主要市場に向けたオンラインによる情報発信を実施することで、潜在的旅行者層との関係性強化やコロナ後の来訪促進を図る。	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・動画コンテンツの制作 ・オンラインライブ配信イベントの実施 ・SNSの運用 ・オンライン広告の実施
----	--	----	---

[参考] R3決算(Do・Check) R4.8時点 (千円)

予算額	当初	17,000
	繰越	
	補正等	
	最終	17,000
決算額		0
対前年度増減額(決算)		

[参考] R4当初予算(Action) R4.3時点 (千円)

予算額	当初	0
主な経費		
対前年度増減額(当初予算)		△ 17,000

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R4決算(Do・Check) R5.8時点 (千円)

予算額	当初	0
	繰越	
	補正等	10,000
	最終	10,000
決算額		4,318
対前年度増減額(決算)		4,318

R5当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	
主な経費		
対前年度増減額(当初予算)		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等	
[事業実績]	<p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響が継続する中、訪日旅行市場の回復状況が不透明であったことから、事業実施を見送った。</p>
[評価等]	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input checked="" type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
[スケジュール]	

事業実績、評価等	
[事業実績]	<ul style="list-style-type: none"> ・飛騨高山の魅力を紹介する動画コンテンツの制作(15本) ・英語圏、台湾、タイ市場に向けたオンラインライブ配信イベントの実施(各市場2回ずつ)(ライブ視聴数2,498回、アーカイブ視聴数17,022回) ・SNS運用(Facebook26本、Instagram25本の記事掲載)(総リーチ数326,723件) ・オンライン広告の実施(SNSフォロワー増加数15,091件、広告表示回数1,315,589回・キャンペーンサイト閲覧数26,181件)
[評価等]	<p>・各主要市場における認知の獲得や興味関心の深化を図ることで、訪日旅行市場の回復状況にあわせて効果的なプロモーションが実施できたものと考え。</p>
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
[スケジュール]	

事業シート(令和4年度決算)

事業名	62100 観光宣伝推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約	強く! ~自然と向き合い暮らす強さ~ 持続可能な地域づくりの実現のために観光振興を活用します
			款	6	商工費		まちづくり戦略	(3)	品質・価値の向上と情報発信		
			項	2	観光費	根拠計画	産業振興計画、過疎地域持続的発展計画				
			目	1	観光振興費						
担当課	飛騨高山プロモーション戦略部 観光課	内線	2217								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・飛騨高山の観光宣伝を様々な手法や媒体を用いて行い、高山への来訪を促進する。	概要	・観光PR用のパンフレットやポスターなど宣伝ツールを作成する。 ・各種キャンペーンや物産展などへの出向による誘客宣伝活動を実施する。 ・関係自治体や民間事業者と連携したPR活動を展開する。 ・継続的なイベントや関係団体事業の支援(協賛広告)による誘客宣伝を実施する。
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	R3実績	R4実績	R6目標
「観光客で市内がにぎわい、観光産業が活性化している」と感じている市民の割合	61.3%	61.3%	↗
高山市への再来訪の意向	98.2%	99.6%	98.0%
観光入込客数(年間)	194.8万人	308.6万人	-
観光入込客数(宿泊)(年間)	85.8万人	142.0万人	-
観光消費額(年間)	401億円	867億円	-

2.事業の実施結果等(Do)

		R3			R4		
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		13,400	10,222	11,960	31,807	30,557	20,335
特定財源	国費(国内観光プロモーション事業費)					19,004	19,004
	県費						
	その他(入湯税、広告事業雑入、夢・まちづくり基金収入)	12,478	6,583	11,222	11,222	11,553	4,970
一般財源		922	3,639	738	20,585	0	△ 3,639
個票枝番	主な事業内容						
	観光パンフレット等の作成	9,440	8,699	8,500	8,347	7,682	△ 1,017
◎ 1	国内観光プロモーション事業委託の実施				20,000	19,800	19,800
	市内散策マップのデジタル化						

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和5年度予算編成(Action)

		R5予算	実施計画額	14,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
15,730	13,660	33,660	21,700	
15,730	13,229	33,229	22,007	
0	431	431	△ 307	
査定額	説明			
7,900				
20,000				
1,900				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響により、物産展やエージェンツ訪問等、現地を訪れる観光宣伝事業は減少したが、マイカー利用の観光客が増加傾向にあることから、高速道路SA等へのパンフレット配架等を強化した。 ・年度末には新型コロナウイルスの影響が減少し、徐々に入込が増加しつつあることから、次年度に向けて観光PR用パンフレット、ポスターなど情報発信ツールを作成した。 	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響により、令和3年1月～令和3年12月の観光客入込客数は市町村合併以降最低となる194万8千人に減少した。 ・10月には、県の施策や市の教育旅行の誘致推進の効果により一時的に入込は増加したが、年末にかけて変異株の感染状況が悪化し再度減少した。 ・観光客の多様化するニーズを把握し、ターゲットを絞った戦略的な宣伝活動を展開する必要がある。 	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・旅行者のニーズや観光動向を把握し、より効果的な誘客宣伝を実施する。 ・ターゲットを絞った情報発信や新たな客層の掘り起こしなど戦略的な誘客活動をすすめる。 ・新型コロナウイルス感染症の影響(回復後の動向を含め)を踏まえた戦略的な誘客活動をすすめる。 	

5.令和4年度事業実績・評価等(Check) R5.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度に続き、新型コロナウイルスの影響により、物産展やエージェンツ訪問等、現地を訪れる観光宣伝事業は減少したが、マイカー利用の観光客が変わらず増加傾向にあることから、高速道路SA等へのパンフレット配架等を強化した。 ・秋以降、新型コロナウイルスとの共存が進むにつれ、徐々に入込が増加しつつあることから、冬から春に向けての誘客施策の一環として、即効性のあるテレビ番組の制作放映によるプロモーションを実施した。 	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・高速道路でのパンフレット配架、近場をターゲットとしたテレビ番組の放映等、適切な時期に適切な手段をもってプロモーションを図る取り組みが奏功し、観光客入込者数の大幅増加に寄与した。 ・今後も益々多様化する観光客のニーズを把握し、ターゲットを絞った戦略的な宣伝活動を展開する必要がある。 	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・旅行者のニーズや観光動向を把握し、より効果的な誘客宣伝を実施する。 ・ターゲットを絞った情報発信や新たな客層の掘り起こしなどアフターコロナの時勢に即した戦略的な誘客活動をすすめる。 	

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な手法や媒体を用いた国内向け誘客宣伝、誘客対策に必要な経費を計上 ・デジタル版市内散策マップの制作に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・TV番組を活用した国内観光プロモーション事業に必要な経費を計上

主要事業個票(令和4年度決算)

事業名	62100 観光宣伝推進事業費	区分	<input checked="" type="checkbox"/> R4新規	<input type="checkbox"/> R5新規	会計	1	一般会計	担当課	飛騨高山プロモーション戦略部観光課
			<input type="checkbox"/> R4拡充	<input type="checkbox"/> R5拡充		款	6		
枝番・内容	1 国内観光プロモーション事業委託の実施		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項	2	観光費	内線	2217
			<input type="checkbox"/>		目	1	観光振興費	作成年月	R5.8

事業の目的・概要(Plan)

目的	・アフターコロナ社会における人流が回復傾向にある現状を契機と捉え、テレビ番組の制作等により、ターゲットに応じた「飛騨高山」の露出を強化し、観光客誘致等につなげ、観光消費の拡大を図る。	概要	・テレビ番組の制作等による情報発信を実施する。
----	---	----	-------------------------

[参考] R3決算(Do・Check) R4.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

[参考] R4当初予算(Action) R4.3時点 (千円)

予算額	当初	
主な経費		
対前年度増減額(当初予算)		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R4決算(Do・Check) R5.8時点 (千円)

予算額	当初	0
	繰越	0
	補正等	20,000
	最終	20,000
決算額		19,800
対前年度増減額(決算)		19,800

R5当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	20,000
主な経費		
対前年度増減額(当初予算)		20,000

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等	
[事業実績]	
[評価等]	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
[スケジュール]	

事業実績、評価等	
[事業実績]	<ul style="list-style-type: none"> ・富山テレビ 番組名:旅っていいね!冬に行きたい飛騨高山 放映日時:令和4年12月9日(金) 19時~20時 視聴率:7.8% 推定視聴者数:34千人 ・東海テレビ 番組名:ぐっさん家 放映日時:令和4年12月17日(土) 18時30分~19時 視聴率:11% 推定視聴者数:750千人 ・中京テレビ 番組名:年末特番「わがまま叶え旅in飛騨高山」 放映日時:令和4年12月30日(金) 9時23分~10時23分 視聴率:3.4% 推定視聴者数:190千人 ・岐阜放送(BS11共同制作) 番組名:飛騨高山今昔物語 放映日時: (岐阜放送)令和4年12月19日(月) 20時~21時30分 令和5年3月27日(月) 20時~21時30分(再放送) (BS11)令和4年12月18日(日) 20時~21時30分
[評価等]	閑散期となる冬期に向け、テレビ番組の特性を活かし、来訪において即効性のある東海地域を中心とした中高年向けの番組等で特集を組むことで、多くの視聴者の方に飛騨高山の魅力を訴求することができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	もともと来訪率が高く、コロナ禍においてさらに来訪率が上昇している中京圏等近隣県に向け、即効性のあるテレビ番組の制作によるプロモーションを実施する。
[スケジュール]	委託・番組制作 令和5年4月~6月 番組放映 令和5年7月~令和6年3月

事業シート(令和4年度決算)

事業名	62110 高山祭事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約
			款	6	商工費		まちづくり戦略	(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出	
			項	2	観光費		根拠計画		産業振興計画	
			目	1	観光振興費					
担当課	飛騨高山プロモーション戦略部 観光課	内線	2217							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 高山祭の認知度の向上と来訪者の増加を図る。 高山祭を安全に実施する。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 祭協賛会組織への支援による官民一体となった誘客宣伝を実施する。 観光客の安全な誘導に必要な資材の調達や警備の実施など来訪者の受入体制を整備する。
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	R3実績	R4実績	R6目標
「観光客で市内がにぎわい、観光産業が活性化している」と感じている市民の割合	61.3%	61.3%	↗
高山市への再来訪の意向	98.2%	99.6%	98.0%
観光入込客数(年間)	194.8万人	308.6万人	-

2.事業の実施結果等(Do)

		R3			R4		
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		6,720	3,156	6,670	6,670	5,783	2,627
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他(寄附金)	1,065	1,065		1,201	1,201	136
一般財源		5,655	2,091	6,670	5,469	4,582	2,491
個票枝番	主な事業内容						
	高山祭協賛会に対する助成	2,000	1,600	2,000	2,000	2,000	400
	案内本部の運営	4,160	1,272	4,110	4,110	3,185	1,913
	交通量調査	560	284	560	560	598	314

4.令和5年度予算編成(Action)

R5予算		実施計画額	
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
7,159	6,760	6,760	90
7,159	6,760	6,760	90
査定額	説明		
2,000			
4,160			
600			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度は新型コロナウイルスの影響により、春は縮小開催となり、感染対策を踏まえながら祭会場内に案内本部を設置し、観光客等が安全に安心して観光できる環境を提供した。なお、秋は感染状況を踏まえ中止となった。 祭協賛会への支援を通じた官民一体となった取り組みについては歴史文化保存の観点から継続した。
評価等	令和3年度においては新型コロナウイルスの影響により、縮小開催や中止となったが、年間観光客入込数に大きく影響する重要なコンテンツであり、感染状況を鑑みつつ、事業継続を行う必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 長期化する新型コロナウイルスの状況を踏まえ、神社や屋台組等の意向にあわせて感染対策を行いながら祭の斎行を支援し、観光客を安全に受け入れられるよう努める。 今後はばらばら外国人観光客の需要が見込めないと想定されるが、ポストコロナを見据えた外国人観光客に対するプロモーションを行っていく。 ユネスコ無形文化遺産登録や日本遺産認定を契機とした文化の伝承を意識しつつ、ポストコロナを見据えた誘客活動を推進する。

5.令和4年度事業実績・評価等(Check) R5.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度は新型コロナウイルスの影響もあつたが、春、秋ともに伝統継承の観点から、感染対策をしながら縮小開催された。 祭会場内に案内本部を設置し、観光客等が安全に安心して観光できる環境を提供した。 祭協賛会への支援を通じた官民一体となった取り組みについては歴史文化保存の観点から継続した。
評価等	令和4年度においては新型コロナウイルスの影響により縮小開催となったが、年間観光客入込数に大きく影響する重要なコンテンツであり、感染状況を鑑みつつ、事業継続を行う必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの分類移行により祭が通常どおり開催され、観光客の増加が見込まれるため、観光客を安全に受け入れられるように努める。 特に外国人観光客は想像以上に増えていくと見込まれるため、外国人観光客に対するプロモーションだけでなく、受入環境の整備も適切に取り組む。 ユネスコ無形文化遺産登録や日本遺産認定を契機とした文化の伝承を意識した誘客活動を推進する。

担当課 予算要求 ポイント	高山祭斎行時の観光客等の案内及び安全確保に必要な経費を計上
---------------------	-------------------------------

財務部 査定の 考え方	積算内容を精査
-------------------	---------

市長査定 の考え方	財務部査定のとおりに
--------------	------------

事業シート(令和4年度決算)

事業名	62120 観光誘客推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約
			款	6	商工費		まちづくり戦略	(3)	品質・価値の向上と情報発信	
			項	2	観光費	根拠計画	産業振興計画、過疎地域持続的発展計画			
			目	1	観光振興費					
担当課	飛騨高山プロモーション戦略部 観光課	内線	2217							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・高山訪問の動機づけや周遊型・滞在型観光の魅力の向上を図り、多くの観光客や教育旅行を誘致する。	概要	・飛騨・高山観光コンベンション協会や飛騨高山旅館ホテル協同組合など民間団体と連携した誘客活動を展開する。 ・飛騨高山観光誘致推進協議会による官民一体となった誘客事業を実施する。
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	R3実績	R4実績	R6目標
「観光客で市内がにぎわい、観光産業が活性化している」と感じている市民の割合	61.3%	61.3%	↗
高山市への再来訪の意向	98.2%	99.6%	98.0%
観光入込客数(年間)	194.8万人	308.6万人	-
観光入込客数(宿泊)(年間)	85.8万人	142.0万人	-
観光消費額(年間)	401億円	867億円	-

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R3		R4			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		15,000	15,000	14,000	14,000	12,800	△ 2,200
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他(入湯税)	15,000	15,000	14,000	14,000	12,800	△ 2,200
一般財源			0	0	0	0	0
個票枝番	主な事業内容						
	飛騨高山観光客誘致推進協議会負担金	15,000	15,000	14,000	14,000	12,800	△ 2,200

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和5年度予算編成(Action)

(千円)

R5予算		実施計画額		16,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
14,000	14,000	14,000	0	
14,000	14,000	14,000	0	
0	0	0	0	
査定額	説明			
14,000				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・(一社)飛騨・高山観光コンベンション協会や飛騨高山旅館ホテル協同組合など民間団体と連携した様々な誘客活動を実施した。 ＜主な取り組み＞ ・テレビ、ラジオ、インターネット、雑誌、物産展等を活用した誘客宣伝 ・交通事業者と連携した誘客宣伝 ・教育旅行に特化したプログラム冊子の作成、ホームページ等による情報発信 ・飛騨高山観光ゼミの開催 ・関西圏をターゲットとした広告出稿、SNSを活用した情報発信 ・NHK番組公開収録「あにげっちゅ」の実施 ・アニメツーリズムの推進(おじゃ魔女どれみ、両面宿衛を活用したプロモーション) ・空港と連携したプロモーション事業の実施
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍において、首都圏をはじめとする都市部などでのキャンペーン活動が制限される中、官民一体となって様々な媒体を活用した情報発信や話題のコンテンツ(両面宿衛)を活用したプロモーションを実施した。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・官民一体となった誘客事業を継続する。 ・支所地域の観光関係団体との連携を強化し、新たな観光資源の発掘を推進する。 ・コロナ禍における旅行者のニーズや観光動向を把握し、戦略的且つ効果的な誘客活動を実施する。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R3完了
- R4完了予定

5.令和4年度事業実績・評価等(Check) R5.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・(一社)飛騨・高山観光コンベンション協会や飛騨高山旅館ホテル協同組合など民間団体と連携した様々な誘客活動を実施した。 ＜主な取り組み＞ ・テレビ、ラジオ、インターネット、雑誌、物産展等を活用した誘客宣伝 ・交通事業者と連携した誘客宣伝 ・教育旅行に特化したプログラム冊子の電子化、ホームページ等による情報発信 ・関西圏をターゲットとした広告出稿、SNSを活用した情報発信 ・アニメツーリズムの推進(氷菓、両面宿衛を活用したプロモーション) ・名古屋プリンスホテルと連携したプロモーション事業の実施 ・世界最大級の旅の祭典「ツーリズムEXPOジャパン」への出展
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍において、首都圏をはじめとする都市部などでのキャンペーン活動が制限される中、官民一体となって、PR活動を積極的に展開した。 ・約3年ぶりに開催となった国内最大級の旅行博「ツーリズムEXPOジャパン」に出展し、高山市の魅力を広く発信することができた。(主催者発表入場者数 124,074人) ・テレビアニメ氷菓放映10周年を記念して「氷菓の重ね塗りスタンプラリー」を実施し(参加者数 2,123人)、誘客施策に対する根強いファンの好反応を確認できた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・官民一体となった誘客事業を継続する。 ・支所地域の観光関係団体との連携を強化し、新たな観光資源の発掘を推進する。 ・アフターコロナにおける旅行者のニーズや観光動向を把握し、戦略的且つ効果的な誘客活動を実施する。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R4完了
- R5完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・民間団体と連携した様々な誘客活動の推進に必要な経費を計上
財務部 査定の 考え方	・要求どおり
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(令和4年度決算)

事業名	62140 観光協会等助成事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約
			款	6	商工費		まちづくり戦略	(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出	
			項	2	観光費	根拠計画	産業振興計画			
			目	1	観光振興費					
担当課	飛騨高山プロモーション戦略部 観光課	内線	2217							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・様々なツールを活用して飛騨高山を広く国内外にPRし、観光業の振興及び年間を通じた観光客の誘致促進を図る。	概要	・観光関連団体や観光関連事業主催者の取り組みを支援する。
----	---	----	------------------------------

総合計画等 主な指標	R3実績	R4実績	R6目標
「観光客で市内がにぎわい、観光産業が活性化している」と感じている市民の割合	61.3%	61.3%	↗
高山市への再来訪の意向	98.2%	99.6%	98.0%
観光入込客数(年間)	194.8万人	308.6万人	-
観光入込客数(宿泊)(年間)	85.8万人	142.0万人	-
観光消費額(年間)	401億円	867億円	-

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	R3			R4			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)	
	171,063	131,244	164,563	164,563	142,411	11,167	
特定財源							
国費()							
県費(観光回廊づくり推進事業費)			3,000	3,000	1,500	1,500	
その他(入湯税、夢・まちづくり基金繰入金等)	140,074	104,868	145,126	145,126	140,911	36,043	
一般財源	30,989	26,376	16,437	16,437	0	△ 26,376	
個票枝番	主な事業内容						
	観光協会の運営に対する助成	16,000	14,743	14,500	14,500	13,845	△ 898
	観光客誘致推進に対する助成	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	0
	コンベンション誘致に対する助成	6,063	6,063	6,063	6,063	6,063	0
	コンベンション開催に対する助成	18,000	1,744	14,000	14,000	6,070	4,326
	観光イベント開催に対する助成	31,000	8,694	30,000	30,000	16,433	7,739

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和5年度予算編成(Action)

(千円)

R5予算		実施計画額		170,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
161,563	161,563	161,563	△ 3,000	
			△ 3,000	
161,563	161,500	161,500	16,374	
0	63	63	△ 16,374	
査定額	説明			
14,500				
100,000	メディア事業、WEB事業、広告宣伝事業			
6,063	2市1村で負担			
14,000				
27,000				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 観光協会運営費補助金 市内10観光協会に対する補助金 イベント開催支援補助金 市内観光協会や実行委員会に対する補助金 観光客誘致推進事業補助金 観光連絡協議会に対する補助金 飛騨・高山コンベンションビューロー補助金 (一社)飛騨・高山観光コンベンション協会のコンベンション誘致事業に対する助成 コンベンション開催支援補助金 コンベンション開催数:12件、参加者数:2,207人
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの影響により開催できないイベントもあったが、内容を見直してイベントを計画し実施することができた。その経験を踏まえ、コロナ禍においてどういった対策をしつつ実施すればよいのか、またアフターコロナに向けての方向性が確認できた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みつつ、従来できていたイベントをそのまま実施するのではなく、これまでの経験値を活かし、状況に応じた対策等を踏まえながら実施する事業に対して支援をするなど、官民一体となって観光客の誘致活動を積極的にやっていく。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

5.令和4年度事業実績・評価等(Check) R5.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 観光協会運営費補助金 市内10観光協会に対する補助金 イベント開催支援補助金 市内観光協会や実行委員会に対する補助金 観光客誘致推進事業補助金 観光連絡協議会に対する補助金 飛騨・高山コンベンションビューロー補助金 (一社)飛騨・高山観光コンベンション協会のコンベンション誘致事業に対する助成 コンベンション開催支援補助金 コンベンション開催数:28件、参加者数:7,167人
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 春からコロナ対策を施した上でのイベント等に取り組むなど、時勢に応じた誘客活動を実施するとともに、10月の渡航制限緩和以降は国内外観光客とも徐々に人流が回復してきたことから、様々なイベントやプロモーションを状況に合わせて実施することができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年5月に新型コロナウイルス感染症の分類が季節性インフルエンザと同じ5類に下げられたことを受け、想像以上に人流の回復が早まること推測される。今後も官民一体となって、競合する観光地に先だった施策を推進することで、国内外に対し、国際観光都市「飛騨高山」のプレゼンスの向上に努める。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・市内観光関連団体や観光関連事業主催者の取組への支援に必要な経費を計上
財務部 査定の 考え方	・要求どおり
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(令和4年度決算)

事業名	62150	観光振興事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約	強く! ~自然と向き合い暮らす強さ~ 持続可能な地域づくりの実現のために観光振興を活用します
				款	6	商工費		まちづくり戦略	(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出		
				項	2	観光費		根拠計画		産業振興計画		
				目	1	観光振興費						
担当課	飛騨高山プロモーション戦略部	観光課	内線	2217								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・戦略的な観光施策を展開し、観光振興によるにぎわいの創出を図る。	概要	・情報通信技術を活用した積極的な観光情報の発信を行う。 ・ユニバーサルデザインに基づく観光案内の整備を行う。 ・各種協議会などを活用した広域的な観光客誘致促進事業を展開する。 ・観光統計や交通量調査等による観光関連データを収集する。
----	----------------------------------	----	---

総合計画等 主な指標	R3実績	R4実績	R6目標
「観光客で市内がにぎわい、観光産業が活性化している」と感じている市民の割合	61.3%	61.3%	↗
高山市への再来訪の意向	98.2%	99.6%	98.0%
観光入込客数(年間)	194.8万人	308.6万人	-
観光入込客数(宿泊)(年間)	85.8万人	142.0万人	-
観光消費額(年間)	401億円	867億円	-

2.事業の実施結果等(Do)

		R3		R4			
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		99,206	44,866	21,029	83,108	68,420	23,554
特定財源	国費(教育旅行促進事業費、体験プログラム利用促進事業費)	1,042	1,042		35,000	26,000	24,958
	県費(乗鞍エンジョイプロジェクト推進事業費)		170				△170
	その他(入湯税)	43,654	43,654			15,582	△28,072
一般財源		54,510	0	21,029	48,108	26,838	26,838
個票枝番	主な事業内容						
	各種協議会負担金	11,552	10,729	11,005	12,005	12,005	1,276
	芸妓育成に対する助成	1,500	1,134	1,500	1,500	1,141	7
	地域資源を活用した誘致	1,124	176	624	624	24	△152
	新型コロナウイルス感染症に対する経済対策補助事業	78,000	27,158	0	60,926	47,693	20,535
	乗鞍スカイライン復旧記念イベントに対する助成	1,000	344				△344
	教育旅行促進事業補助金、体験プログラム利用促進事業補助金						

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和5年度予算編成(Action)

R5予算		実施計画額		23,400
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
87,578	19,730	82,730	61,701	
17,209	14,448	69,558	69,558	
70,369	5,282	13,172	△7,857	
査定額	説明			
11,420				
1,500				
630				
63,000				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 観光施設の入場者数や市内宿泊者数のデータ収集、交通量の調査、観光客へのアンケートなどにより、毎月の観光動向を把握するとともに、観光動向調査を実施した。 各種協議会等に参画し、それぞれにおいてコロナ禍における誘客宣伝活動を実施した。 おもてなしの文化を振興するための、芸妓の育成を行う団体の取り組みを支援した。 ONSEN+ガストロミーツーリズムに対する助成事業は、新型コロナウイルスの影響により実施することができなかった。 新型コロナウイルスの影響に対する経済対策補助事業を以下の通り実施した。 教育旅行促進事業(第1弾):13,814千円(113校 10,972人利用) 体験プログラム利用促進事業:12,270千円(3,201人利用) 教育旅行促進事業(第2弾):1,074千円(繰越事業)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 継続しておもてなし文化後継者育成を支援し、総合的に伝統芸能を習得させることができた。 各種協議会と連携した事業を行うだけでなく、コロナ禍においてそれぞれが保有する有益な情報を共有することができた。また、団体によっては負担金の見直しを図った。 観光統計を踏まえ、コロナ禍、そしてアフターコロナを見据えた観光客のニーズを把握し、より効果的な宣伝活動を展開する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 新たな地域資源の発掘、そして地域資源を活用した観光振興を推進する。 観光動向調査をはじめとする各種調査結果やその分析を継続しつつ、コロナ禍における戦略的観光施策を検討する。 市が負担する各種協議会等への負担金等について、参加の是非や必要性を含め見直しを行う。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R3完了
- R4完了予定

5.令和4年度事業実績・評価等(Check) R5.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 観光施設の入場者数や市内宿泊者数のデータ収集、交通量の調査、観光客へのアンケートなどにより、毎月の観光動向を把握するとともに、観光動向調査を実施した。 各種協議会等に参画し、それぞれにおいてコロナ禍における誘客宣伝活動を実施した。 おもてなしの文化を振興するための、芸妓の育成を行う団体の取り組みを支援した。 ONSEN+ガストロミーツーリズムに対する助成事業は、新型コロナウイルスの影響により実施することができなかった。 新型コロナウイルスの影響に対する経済対策補助事業を以下の通り実施した。 ○教育旅行促進事業(第2弾):16,144千円(106校 14,052人利用) ※うち、11,926千円はR3からの繰越明許費 ○体験プログラム利用促進事業(第2弾):31,549千円(16,291人利用)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> おもてなし文化後継者育成支援により、総合的な伝統芸能の習得につなげることができた。 各種協議会と連携した事業に加え、コロナ禍においてそれぞれが保有する有益な情報を共有することができた。また、団体によっては負担金の見直しを図った。 観光統計を踏まえ、コロナ禍、そしてアフターコロナを見据えた観光客のニーズを把握し、より効果的な宣伝活動を展開する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 新たな地域資源の発掘、そして地域資源を活用した観光振興を推進する。 観光動向調査をはじめとする各種調査結果やその分析を継続しつつ、これまでのコロナ禍で得た知見を活かしアフターコロナにおける戦略的観光施策を検討する。 市が負担する各種協議会等への負担金等について、参加の是非や必要性を含め見直しを継続して行う。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R4完了
- R5完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 戦略的な観光施策の展開、観光振興による地域づくりに必要な経費等を計上 教育旅行調査委託及び教育旅行・体験プログラム利用への助成に必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	<ul style="list-style-type: none"> 積算内容を精査 教育旅行調査委託及び教育旅行・体験プログラム利用への助成に必要な経費について予算化を見送り
市長査定 の考え方	<ul style="list-style-type: none"> 教育旅行及び体験プログラム利用への助成に必要な経費を計上

事業シート(令和4年度決算)

事業名	62200 観光施設運営事業費	予算	会計	1	一般会計	総会計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約
			款	6	商工費		まちづくり戦略	(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出	
			項	2	観光費		根拠計画		産業振興計画、過疎地域持続的発展計画	
			目	2	観光施設費					
担当課	飛騨高山プロモーション戦略部 観光課	内線	2209							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・観光施設を活用した観光振興を推進することで、にぎわいの創出を図る。	概要	・自然資源の活用施設や体験交流施設など観光施設を適切に管理運営する。
----	------------------------------------	----	------------------------------------

総合計画等 主な指標	R3実績	R4実績	R6目標
「観光客で市内がにぎわい、観光産業が活性化している」と感じている市民の割合	61.3%	61.3%	↗
高山市への再来訪の意向	98.2%	99.6%	98.0%
観光入込客数(年間)	194.8万人	308.6万人	-

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R3		R4			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		359,073	305,891	194,380	280,180	256,174	△ 49,717
特定財源	国費()						
	県費(新穂高温泉園地管理費等)	274	274	274	274	274	0
	その他(指定管理事業雑入(観光施設)、飛騨高山ふるさと基金繰入金等)	12,707	13,142	26,016	15,345	15,881	2,739
一般財源		346,092	292,475	168,090	264,561	240,019	△ 52,456
個票枝番	主な事業内容						
	観光施設の管理運営	301,573	273,195	156,680	242,480	218,628	△ 54,567
	施設整備	57,500	32,696	37,700	37,700	37,546	4,850

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和5年度予算編成(Action)

(千円)

R5予算		実施計画額	
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
247,400	266,550	266,550	72,170
274	274	274	0
22,016	14,939	74,939	48,923
225,110	251,337	191,337	23,247
査定額	説明		
196,250			
70,300			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 観光施設21施設(うち指定管理施設19施設)の管理運営 観光施設の維持修繕等(しぶきの湯遊湯館浄化槽設備更新など)の実施 新型コロナウイルス感染症予防対策(施設内における手指消毒や換気の徹底及びパーティションによる間隔の確保)の実施
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設等総合管理計画に基づき、施設の整理・見直し(野麦峠の館廃止決定)を実施した。 指定管理者制度により、民間活力を活用した施設運営やサービスの向上が図られている。 施設の現状を踏まえつつ、老朽化した施設の計画的な修繕を実施した。 休止施設の活用策について検討が必要である。 新型コロナウイルス感染症の影響による人流の変化等により、利用者数は概ね前年度と同程度となっている。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 計画的に施設の修繕をすすめる。 休止施設の今後の活用策を検討する。 公共施設等総合管理計画の方針に基づいた対応を行う。 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、適正な施設の管理運営を行う。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R3完了
- R4完了予定

5.令和4年度事業実績・評価等(Check) R5.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 観光施設20施設(うち指定管理施設18施設)の管理運営 観光施設の維持修繕等(塩沢温泉七峰館駐車場舗装修繕など)の実施 新型コロナウイルス感染症予防対策(施設内における手指消毒や換気の徹底及びパーティションによる間隔の確保)の実施
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設等総合管理計画に基づき、施設の整理・見直し(ひだ清見ラベンダー公園廃止・移転決定)を実施した。 指定管理者制度により、民間活力を活用した施設運営やサービスの向上が図られている。 施設の現状を踏まえつつ、老朽化した施設の計画的な修繕を実施した。 新型コロナウイルス感染症の影響を受けつつも、人流の動きは回復傾向となり、利用者数は大きく増加している。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 計画的に施設の修繕をすすめる。 公共施設等総合管理計画の方針に基づいた対応を行う。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R4完了
- R5完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・観光施設の管理運営、施設整備に必要な経費を計上
---------------------	--------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(令和4年度決算)

事業名	62205 飛騨民俗村再整備事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約
			款	6	商工費		まちづくり戦略	(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出	
			項	2	観光費	根拠計画	産業振興計画			
			目	2	観光施設費					
担当課	飛騨高山プロモーション戦略部 観光課	内線	2209							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・松倉・民俗村エリアの賑わい創出と活性化を図るとともに、市街地観光における周遊性を高める。	概要	・飛騨民俗村再整備構想に基づく飛騨民俗村及び周辺エリアの再整備
----	---	----	---------------------------------

総合計画等 主な指標	R3実績	R4実績	R6目標
観光入込客数(年間)	194.8万人	308.6万人	-
飛騨の里の入場者数(年間)	5.8万人	9.8万人	29.0万人

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	R3			R4			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)	
	60,600	59,576	37,000	37,000	33,241	△ 26,335	
特定財源	国費(景観改善推進事業費 1/3)	1,600	1,943			△ 1,943	
	県費(観光施設整備事業費 1/4)		5,770	6,500	6,220	450	
	その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金 等)	4,000	4,000	21,000	27,000	23,000	
一般財源	55,000	47,863	9,500	9,500	21	△ 47,842	
個票枝番	主な事業内容						
	飛騨民俗村再整備構想に基づく整備	60,600	59,576	37,000	37,000	33,241	△ 26,335

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和5年度予算編成(Action)

(千円)

R5予算		実施計画額		48,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
75,900	71,400	71,400	34,400	
7,450	7,450	7,450	950	
	40,000	50,000	29,000	
68,450	23,950	13,950	4,450	
査定額	説明			
71,400	文学散歩道の整備ほか			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施

事業実績	・飛騨民俗村再整備構想に基づく施設の整備等(飛騨民俗村の旧富田家屋根葺替など)を実施 ・令和3年度利用者数 飛騨民俗村 57,696人
評価等	・飛騨地域の民俗文化や里の風景のなかで誰もが非日常を体験できるよう、施設等の改修・景観保全等の推進を図った。 ・地域住民と指定管理者及び行政が連携し、飛騨民俗村再整備構想を推進するとともに、魅力ある施設として、更なる交流人口の増加を図る必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	・飛騨民俗村再整備構想の推進を図る。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

5.令和4年度事業実績、評価等(Check) R5.8実施

事業実績	・飛騨民俗村再整備構想に基づく施設の整備等(飛騨民俗村の旧野首家屋根葺替など)を実施 ・令和4年度利用者数 飛騨民俗村 97,545人
評価等	・飛騨地域の民俗文化や里の風景のなかで誰もが非日常を体験できるよう、施設等の改修・景観保全等の推進を図った。 ・地域住民と指定管理者及び行政が連携し、飛騨民俗村再整備構想を推進するとともに、魅力ある施設として、更なる交流人口の増加を図る必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	・飛騨民俗村再整備構想の推進を図る。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・飛騨民俗村再整備構想の推進に必要な経費を計上
---------------------	-------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(令和4年度決算)

事業名	62207 奥飛騨温泉郷活性化事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約
			款	6	商工費		まちづくり戦略	(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出	
			項	2	観光費		根拠計画		産業振興計画、過疎地域持続的発展計画	
			目	2	観光施設費					
担当課	飛騨高山プロモーション戦略部 観光課	内線	2209							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・奥飛騨温泉郷を活性化させる各種施策を展開し、これまで以上に多くの観光客が訪れる観光地づくりをすすめ、更なる誘客を図る。	概要	・奥飛騨温泉郷活性化基本構想に基づく同地域の活性化に向けた各種事業の実施
----	--	----	--------------------------------------

総合計画等 主な指標	R3実績	R4実績	R6目標
奥飛騨温泉郷の宿泊者の観光消費額	75億円	133億円	

2.事業の実施結果等(Do)

		R3			R4		
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
				8,000	8,000	0	
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金)						
一般財源				8,000	8,000	0	
個票枝番	主な事業内容			8,000	8,000	0	
	奥飛騨温泉郷活性化基本構想に基づく施設整備			8,000	8,000	0	

4.令和5年度予算編成(Action)

R5予算		実施計画額		20,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
17,500	19,400	19,400	11,400	
		10,000	10,000	
17,500	19,400	9,400	1,400	
査定額	説明			
19,400	平湯大滝公園整備設計委託			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

5.令和4年度事業実績、評価等(Check) R5.8実施

事業実績	・旧笠山荘建設時の建物詳細設計等(基礎、敷地内埋設物等の設計図書)では、埋設物等が不明確であったことから、令和5年度の旧笠山荘解体工事完了後、令和6年度において旧笠山荘跡地の駐車場整備設計等業務を発注するよう見直した。
評価等	・奥飛騨温泉郷活性化基本構想をはじめ、松本高山Big Bridge構想を推進する中で、奥飛騨温泉郷の地域資源を最大限活用し、上質で多彩な利用と滞在を提供するとともに、世界水準のディステーションの実現を目指していく。 ・休止施設(平湯大滝公園)の再活用についての方向性(景観改善・自然公園化)を示した。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・奥飛騨温泉郷活性化基本構想の推進に必要な経費を計上
---------------------	----------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定の 考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和4年度決算)

事業名	62210 スキー場運営事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約
			款	6	商工費		まちづくり戦略	(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出	
			項	2	観光費		根拠計画		産業振興計画、過疎地域持続的発展計画	
			目	2	観光施設費					
担当課	飛騨高山プロモーション戦略部 観光課	内線	2209							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・スキー場のあり方の検討結果に基づく対応をすすめる。	概要	・索道施設の解体撤去等を行う。
----	----------------------------	----	-----------------

総合計画等 主な指標	R3実績	R4実績	R6目標
「観光客で市内がにぎわい、観光産業が活性化している」と感じている市民の割合	61.3%	61.3%	↗
高山市への再来訪の意向	98.2%	99.6%	98.0%
観光入込客数(年間)	194.8万人	308.6万人	-

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	R3			R4			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)	
	98,550	79,905	64,750	134,781	111,742	31,837	
特定財源							
国費()							
県費()							
その他(観光施設使用料、飛騨高山ふるさと基金繰入金等)	139	145	139	139	139	△6	
一般財源	98,411	79,760	64,611	134,642	111,603	31,843	
個票枝番	主な事業内容						
	スキー場の維持管理	73,240	54,895	35,900	105,770	84,504	29,609
	施設整備(解体)	24,300	24,003	28,000	27,534	25,761	1,758

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和5年度予算編成(Action)

(千円)

R5予算		実施計画額	
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
118,230	107,090	107,090	42,340
50	0	85,000	84,861
118,180	107,090	22,090	△42,521
査定額	説明		
4,400	水道施設・浄化槽施設等管理		
100,000	索道施設解体		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者による市営スキー場2施設(モンデウス飛騨位山スノーパーク・飛騨舟山スノーリゾートアルコピア)の管理運営 利用者の安全を確保するためのリフト修繕の実施 新型コロナウイルス感染症予防対策(施設内における手指消毒や換気の徹底及びバーテーションによる間隔の確保)の実施 令和3年度利用者数 モンデウス飛騨位山スノーパーク 29,814人 飛騨舟山スノーリゾートアルコピア 24,428人
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 地域の観光収入の柱として、関連する宿泊施設や飲食施設に経済効果を与えている。 重要な地域雇用の場であり、地域活性化施設としてのニーズが高い。 地域の学校のスキー研修等にも活用されるなど、冬季の市民スポーツ・レジャー施設となっている。 例年に比べ降雪状況が良好であったことから、利用者数は若干の増加となっている。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設等総合管理計画の施設のあり方や地域住民等の意見を踏まえ、市営スキー場のあり方に関する検討結果と方向性を示すとともに、地域や関係者と連携した取組みをすすめる。 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、適正な施設の管理運営を行う。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R3完了
- R4完了予定

5.令和4年度事業実績・評価等(Check) R5.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者による市営スキー場2施設(モンデウス飛騨位山スノーパーク・飛騨舟山スノーリゾートアルコピア)の管理運営 利用者の安全を確保するためのリフト修繕の実施 新型コロナウイルス感染症予防対策(施設内における手指消毒や換気の徹底及びバーテーションによる間隔の確保)の実施 令和4年度利用者数 モンデウス飛騨位山スノーパーク 27,253人 飛騨舟山スノーリゾートアルコピア 27,732人
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設等総合管理計画、スキー場のあり方に関する検討結果と方向性等に基づき、施設の整理・見直し(飛騨舟山スノーリゾートアルコピア廃止、モンデウス飛騨位山スノーパーク所管替の決定)を実施した。 飛騨舟山スノーリゾートアルコピアは、地域のシンボルとして、惜しまれながらもその長きにわたる営業を終了する最終年度となったが、コロナ禍以前の状況に近づく程の多くの利用者を受入れるなど、賑わいの創出を図った。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設等総合管理計画、スキー場のあり方に関する検討結果と方向性等に基づき、施設の整理・見直しを実施した後の、財産の管理や処分を行う。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R4完了
- R5完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・索道施設解体等に必要経費を計上
---------------------	------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

事業シート(令和4年度決算)

事業名	62220 観光案内所運営事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約
			款	6	商工費		まちづくり戦略	(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出	
			項	2	観光費	根拠計画	産業振興計画、過疎地域持続的発展計画			
			目	2	観光施設費					
担当課	飛騨高山プロモーション戦略部 観光課	内線	2209							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・観光客への適切な情報提供と案内を行うとともに、心のこもったおもてなしによる対応により、潜在の満足度を高める。	概要	・飛騨高山観光案内所及び新穂高センター(奥飛騨温泉郷観光案内所)の管理運営を行う。 ・まちかど観光案内所を設置し運営する。
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	R3実績	R4実績	R6目標
「観光客で市内がにぎわい、観光産業が活性化している」と感じている市民の割合	61.3%	61.3%	↗
高山市への再来訪の意向	98.2%	99.6%	98.0%
観光入込客数(年間)	194.8万人	308.6万人	-

2.事業の実施結果等(Do)

		R3			R4		
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		21,027	20,650	20,780	21,109	20,671	21
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他(観光施設使用料、入湯税等)	400	520	5,400	5,400	20,671	20,151
一般財源		20,627	20,130	15,380	15,709	0	△ 20,130
個票枝番	主な事業内容						
	観光案内所の管理運営	17,697	17,368	17,460	17,806	17,369	1
	まちかど観光案内所の管理運営	3,330	3,282	3,320	3,303	3,302	20

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和5年度予算編成(Action)

		R5予算		実施計画額		22,000	
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)				
21,520	21,560	21,560	780				
400	21,510	21,400	16,000				
21,120	50	160	△ 15,220				
査定額	説明						
18,170							
3,390							

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者による飛騨高山観光案内所の管理運営 古い町並エリア内まちかど観光案内所の設置・運営 直営による新穂高センター(奥飛騨温泉郷観光案内所)の管理運営 新型コロナウイルス感染症予防対策(施設内における手指消毒や換気の徹底及びパーテーションによる間隔の確保)の実施 令和3年度利用者数 飛騨高山観光案内所 43,581人 新穂高センター(奥飛騨温泉郷観光案内所) 5,076人
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 飛騨高山観光案内所は、市の玄関口として観光客のニーズが高く、観光の起点としての役割を果たしている。 飛騨の家具やベレットストーブを導入し、市内産業や環境保全に関する取組みのPRとなっている。 新型コロナウイルス感染症の影響による人流の変化等により、利用者数は概ね前年度と同程度となっている。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 近隣の観光案内所との連携を図りながら、広域観光案内の実現を図る。 利用者のニーズを踏まえた観光案内を行うとともに、国内外を問わず、案内窓口の拠点として、利用者にも再訪を促すことのできるような施設運営を行う。 公共施設等総合管理計画の方針に基づいた対応を行う。 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、適正な施設の管理運営を行う。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

5.令和4年度事業実績、評価等(Check) R5.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者による飛騨高山観光案内所の管理運営 古い町並エリア内まちかど観光案内所の設置・運営 直営による新穂高センター(奥飛騨温泉郷観光案内所)の管理運営 新型コロナウイルス感染症予防対策(施設内における手指消毒や換気の徹底及びパーテーションによる間隔の確保)の実施 令和4年度利用者数 飛騨高山観光案内所 114,319人 新穂高センター(奥飛騨温泉郷観光案内所) 8,235人
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 飛騨高山観光案内所は、市の玄関口として観光客のニーズが高く、観光の起点としての役割を果たしている。 飛騨の家具やベレットストーブを導入し、市内産業や環境保全に関する取組みのPRとなっている。 新型コロナウイルス感染症の影響を受けつつも、人流の動きは回復傾向となり、利用者数は大きく増加している。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 近隣の観光案内所との連携を図りながら、広域観光案内の実現を図る。 利用者のニーズを踏まえた観光案内を行うとともに、国内外を問わず、案内窓口の拠点として、利用者にも再訪を促すことのできるような施設運営を行う。 公共施設等総合管理計画の方針に基づいた対応を行う。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・観光案内所の管理運営に必要な経費を計上
財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに